

【サイクロン・イダイ被害に係る我が国の緊急支援引渡式】

3月中旬にジンバブエに甚大な被害をもたらしたサイクロン・イダイの被害者に対して、日本政府は緊急支援を行うことを決定し、4月8日、ハラレ国際空港において到着した支援物資を当国政府に引き渡しました。

引き渡し式には岩藤大使をはじめ、ムランガ地方行政・公共事業・住宅副大臣、吉新JICA支所長、ロウWFP当地代表の他、政府関係者、JICA支所職員及びメディア関係者等約30名が出席しました。

岩藤大使は、挨拶においてサイクロン・イダイによる被害者に対して哀悼の意を表するとともに、「自然災害が多い日本の経験を踏まえ、世界からの暖かい支援があることに加え、国民が一致団結することが重要である。」と述べました。

また、ムランガ副大臣より、「当国政府を代表して、日本国民及び日本国政府による本支援に対する感謝の意を表します。今後、復興期が始まっていきますが、今回のサイクロンによって道路、橋などのインフラが甚大な被害を受けたため、被災地の復興に向けて、引き続き貴国からの支援をお願いします。」と述べられました。

【参考】引渡式の様子



吉新 JICA 支所長による挨拶



ロウ WFP 代表による挨拶



本使による挨拶



我が国からの支援に対する謝意を述べる

ムランガ地方行政副大臣



岩藤大使より副大臣に支援物品の手交



支援物品のパネル(左から岩藤大使、宮川参事官、副大臣)